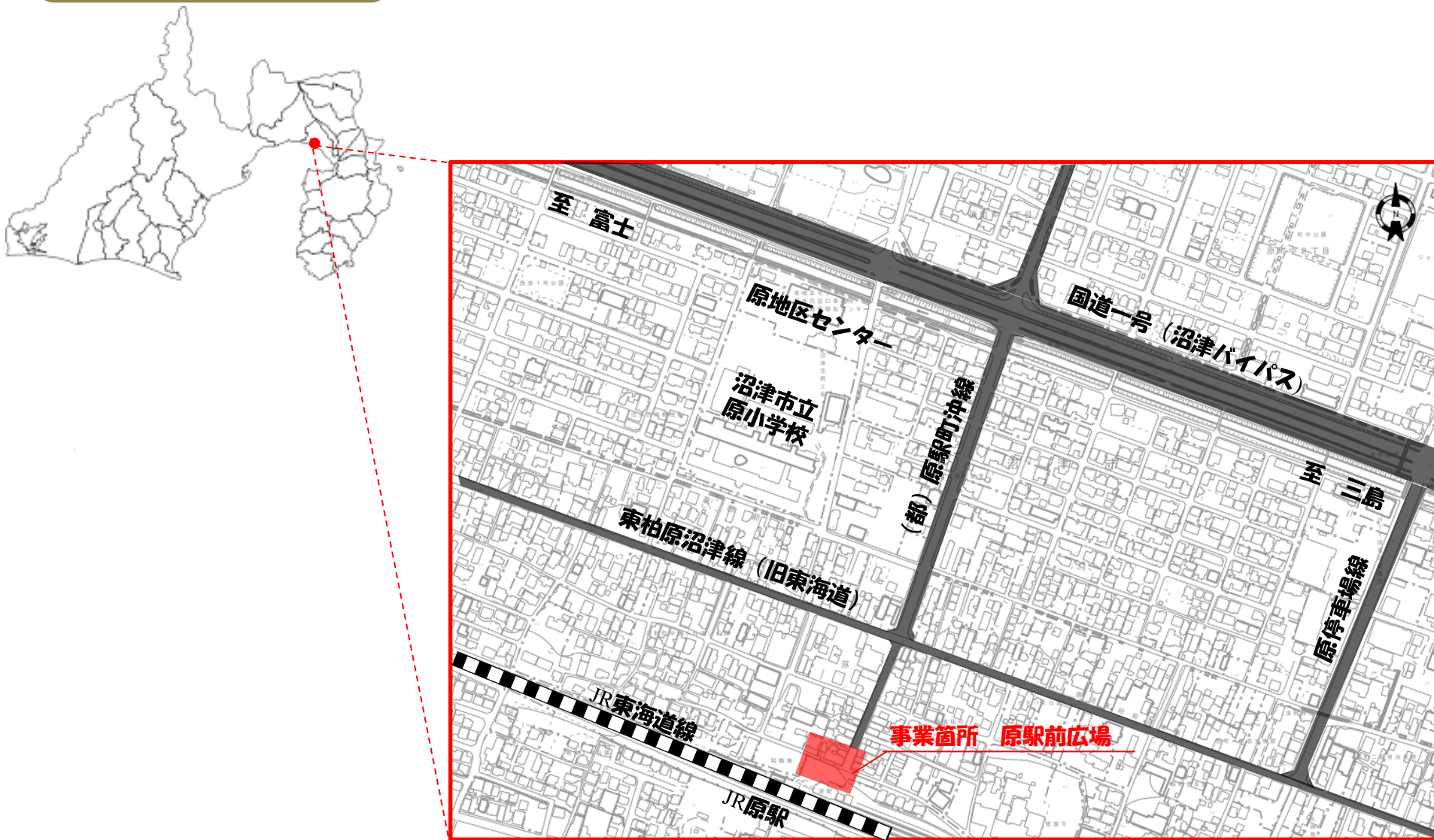


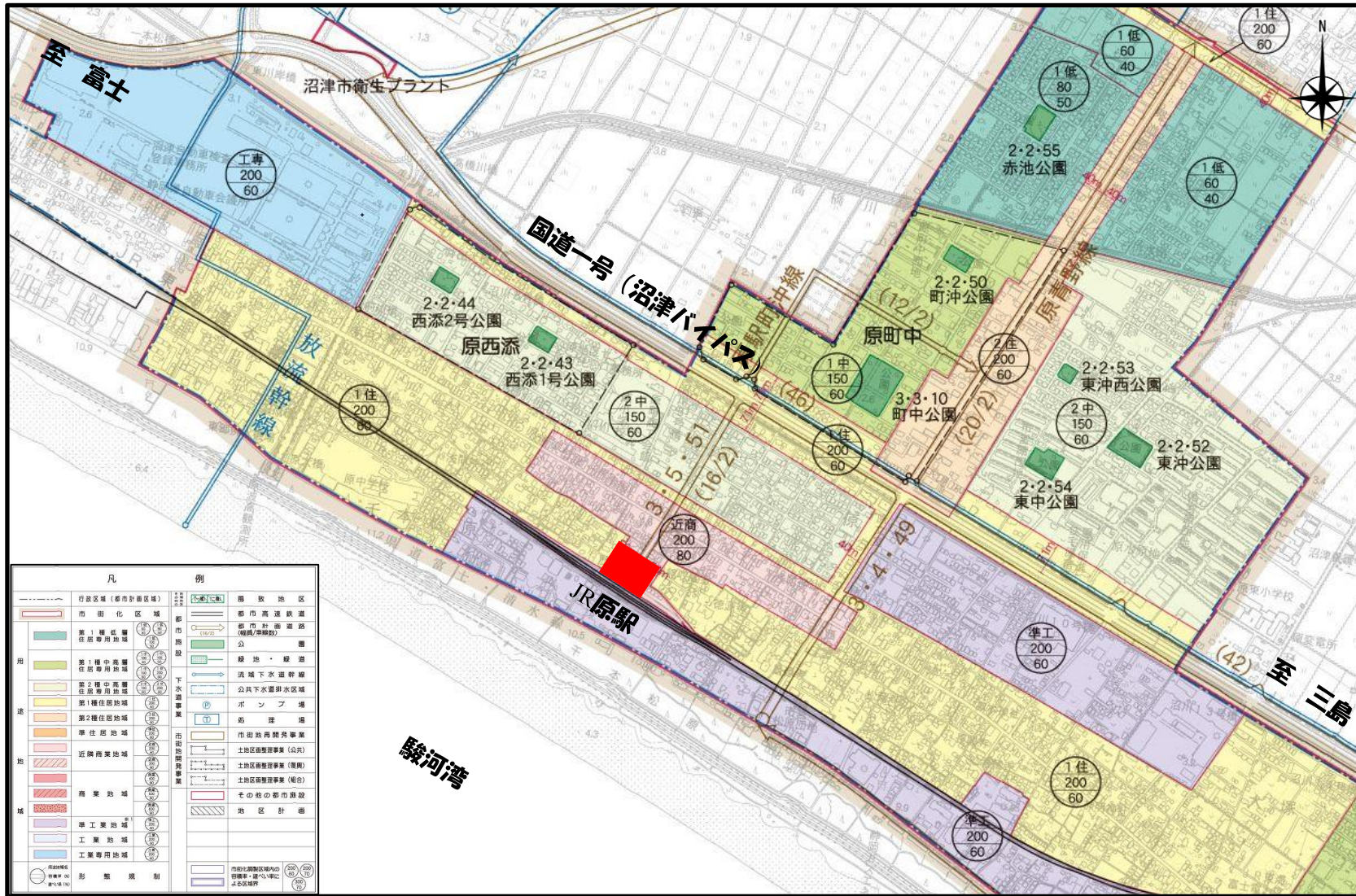
事業概要

応募No.	11		
事業主体	沼津市	事業箇所	静岡県沼津市原地内
応募者名	静岡県沼津市建設部道路建設課		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろ はらえきまちおきせんえきまえひろばせいびじぎょう 都市計画道路 原駅町沖線駅前広場整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>沼津市の西の玄関口であるJR東海道本線原駅は、周辺住民の利用に加え周辺事業所等の関係者の利用も多い駅である。</p> <p>しかし、原駅前歩道が未分離のため車両や歩行者が輻輳しており、特にピーク時は非常に危険な状況であった。そのため、安全性の確保及び利便性の向上などを目的に本事業を実施した。</p> <p>利用者のニーズにあった整備計画を策定するため、平成18年7月から延べ4回に渡り地域住民等と検討ワークショップを行い、平成26年4月からは用地取得を開始。令和元年度に工事に着手し令和5年3月に完成した。</p> <p>その結果、歩道は分離され安全性が確保されるとともに、車道のロータリー化及び施設のユニバーサルデザイン化などにより、利用者の利便性も大幅に向上した。</p> <p>また、周辺で実施する5つの事業と連携を図ることで、風情のある宿場町のにぎわいと歴史的な雰囲気のあるまちなみ景観を一体的に創出することにも成功した。</p>		
事業規模※	整備面積	約2,700㎡ 整備前:800㎡ 約3.4倍	
	歩道の幅員	3.5m 整備前:歩道なし	
	事業期間(和暦)	平成26年度～令和7年度	
	事業費(億円)	約9億円	
受賞歴	有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
URL	https://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/office/ichiran/kensetsu/douro/haraekimae.htm		

事業位置図



都市計画図(用途地域図)

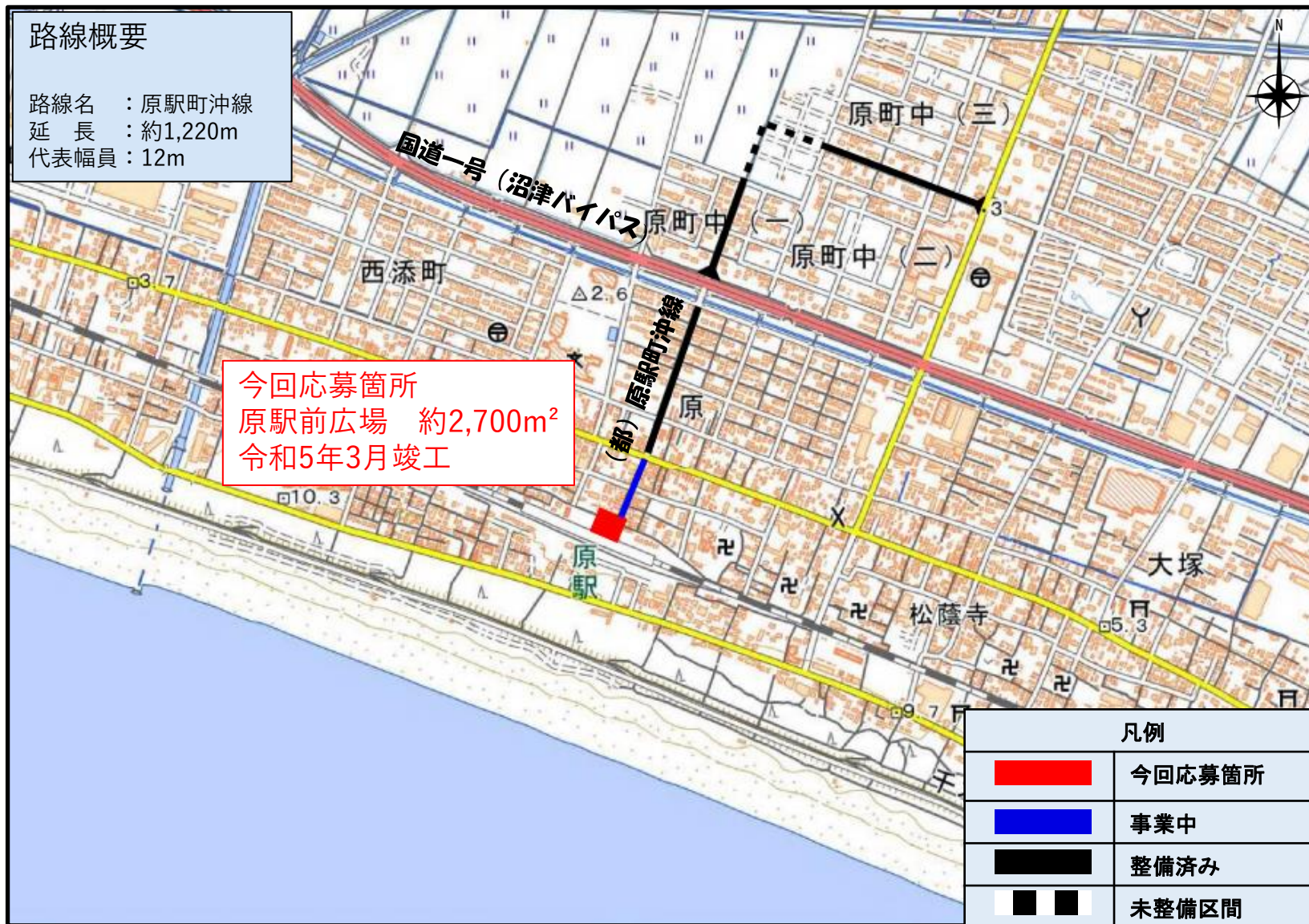


路線全体の進捗状況

路線概要

路線名：原駅町沖線
延長：約1,220m
代表幅員：12m

今回応募箇所
原駅前広場 約2,700m²
令和5年3月竣工

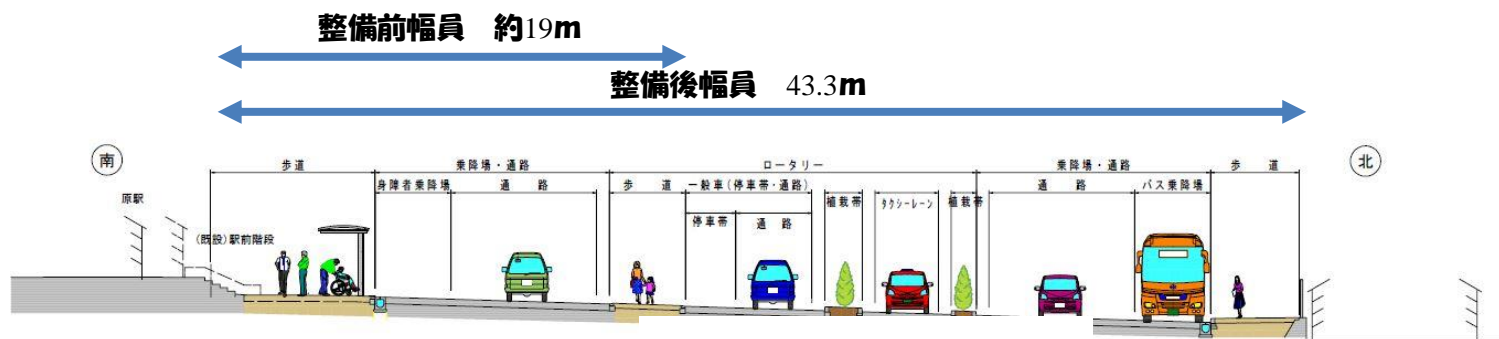


凡例	
	今回応募箇所
	事業中
	整備済み
	未整備区間

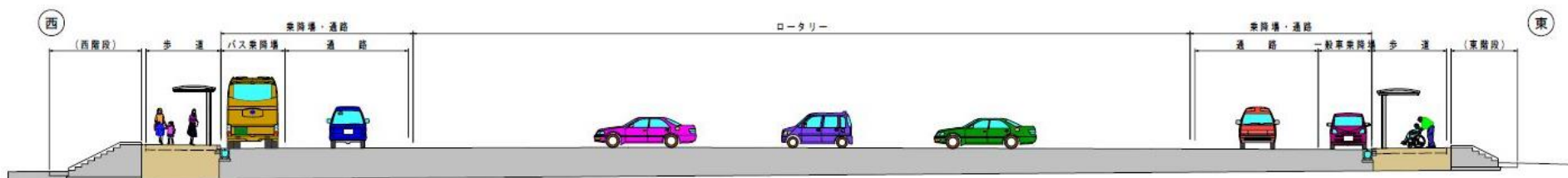
縦断図・横断図

事業後

原駅前広場南北断面



原駅前広場東西断面



事業前写真



事業後写真

(静岡県：(都)原駅町沖線)



駅利用者の安全性と安心感が大幅に向上

整備前

整備後

設備

- ・ 歩道と車道が未分離

- ・ **ロータリー化**しバスや一般車等の**停車帯**を整備
- ・ 雨除けシェルター付きの**歩道**も設置

安全性

- ・ 車両と歩行者が輻輳
- ・ 事故の**危険性が極めて高い**

- ・ 車両と歩行者とも**移動が円滑**に
- ・ 事故の危険性が**極めて低くなった**

安心感

- ・ 事故の不安を抱えながら利用していた

- ・ 高齢者や子供など**交通弱者も安心して利用可能**
- ・ **駅利用者の増加**も見込める

広場全景



送迎状況



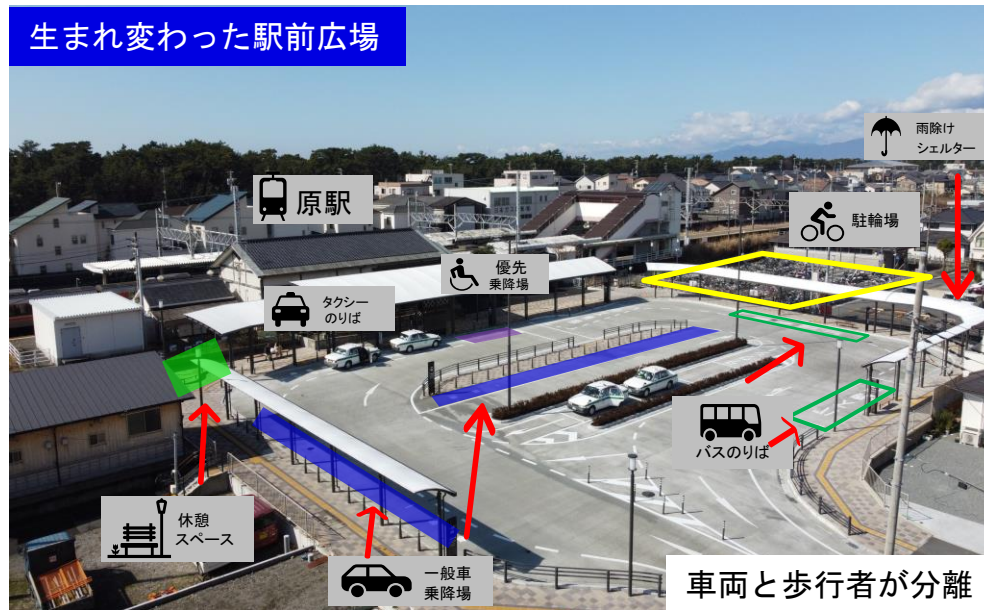
歩行者の流動



車両の動線



生まれ変わった駅前広場



車両と歩行者が分離

駅利用者の利便性が大幅に向上

実施内容

ユニバーサル
デザイン

- ・ 車道と歩道の段差に配慮。
- ・ 乗降車場にバスの正着性を高めるデザインを採用

歩道

- ・ 透水性の高いブロック舗装と雨除けシェルターを設置

案内板

- ・ ピクトグラム(絵文字)を活用した案内板を設置

効果

- ・ 高齢者、車いす利用者及びベビーカー利用者等が**安心して乗降することが可能!**

- ・ 悪天候でも歩行者は**快適で安全な移動が可能!**

- ・ 言語の違い、年齢及び障害等による制約を受けずに**必要な情報を伝えることが可能!**

- ・ **段差**：バスが駐停車する歩道の高さは、車いす利用者等が使いやすい高さとした
- ・ **隙間**：正着性が高くなりバスと乗降場の隙間が小さくなる

・ 車いす利用者等に配慮して歩道の高さを設定

・ バスが斜めに駐停車できるデザインを採用

- ・ **シェルター**：雨や夏の強い日差しを防ぐ
- ・ **高透水性のブロック舗装**：水たまりの発生を防ぐ

- ・ **ピクトグラム**：外国人、子ども及び目の不自由な方などにも必要な情報を伝えることができる



災害に強い空間を創出

・電線共同溝を整備 (無電柱化)

効果

- ・電柱の下敷きや切れた電線による感電等の**人的被害の防止**
- ・電柱の倒壊による**道路の閉鎖防止**
- ・**安全で快適な歩行空間**の確保

- ・南海トラフ巨大地震の今後40年以内の**発生確率は90%程度**と極めて高い
- ・沼津市では建物の全壊・焼失が約6,000棟、死者は約13,000人と想定
- ・被害の最小化が市の最も重要な課題の一つである

・発災時に電柱や電線は凶器に変貌！

- ・阪神淡路大震災では、電柱や電線などに多くの損害が生じた
- ・それにより救助や消火活動などが妨げられる事案も数多く発生

- ・電柱を無くすことで、地震や台風など発災時における**被害を抑える**ことができる



受賞歴・報道資料

報道状況

- 令和5年3月22日 静岡新聞にて掲載
- 令和5年3月23日 沼津朝日新聞にて掲載